

令和5年度学校経営計画書

岡山県立岡山大安寺中等教育学校

○ 学校のミッション（使命、存在意義）

高度な知識と幅広い教養を培う県立中等教育学校として、課題解決型学習等に取り組み、主体性や協調性、粘り強い心等を高める6年間の一体的な学習活動や体験活動等を通して、地域社会や国際社会を牽引するリーダーとして、その発展に貢献する人材の育成を目指す。

○ 内外の環境分析

- 1 生徒の実態
全県学区であり、広範囲から通学している。学校生活に対して積極的に取り組む意欲を強く持った生徒が多い。基礎学力は概ね定着している。
- 2 保護者の実態
保護者は、教育への関心、公立中等教育学校に対する期待が高く、学校の方針に協力的である。
- 3 地域等の実態
県内唯一の公立中等教育学校として県民から大きな期待と関心が注がれており、同窓生からの期待も大きい。
- 4 教職員の実態
本校の強みは、6年一貫教育や先行学習、異学年交流等による生徒の学びである。一方で、各学年の教員数は10名前後で、指導内容が多岐にわたることや、分掌業務も学年団ごとで担当するため一人にかかる負担は大きい。

○ ミッションの追求を通じて実現しようとするビジョン（目指す姿）

- 1 知識と体験を融合させる6年一貫教育を行い、自ら進路を切り拓き、日本は勿論、世界のリーダーとして活躍する強い意思を持った生徒を育成する。
 - (1) 高い目標を掲げ、高度な知識と幅広い教養をもって社会の動きを捉え、課題探究や課題解決に向けて主体的に取り組む生徒
 - (2) 困難に打ち勝つ粘り強い心と、協調性や思いやりの心を持った生徒
 - (3) 海外研修や各種留学経験等を通して、グローバル社会に対応できる資質を持った生徒
- 2 教職員が、教育への情熱と高い専門性を備え、中等教育の6年間を見通した指導力の向上を図るとともに、一人一人がリーダーシップを発揮し「チーム大安寺」として協働して業務を遂行できる学校とする。
- 3 外部機関や外部人材等の協力を得て魅力ある教育活動を進めるとともに、積極的な情報発信により信頼される学校とする。

○ 指導方針

6年間を、基礎期、充実期、発展期の三つのステージに分け教育活動を構成する。

I 【基礎期】本校6年間の学校生活の基礎を確立する。

- ・ 基本的生活習慣の確立（言葉遣い、時間や期限を守る、掃除を頑張る等）
- ・ 中学校の学習内容の定着
- ・ 学ぶ楽しさの体験
- ・ 人間関係づくりの経験

II 【充実期】多様な生き方にふれることにより、自身の将来像を描き、その実現に向けた適切な文理選択をする。

- ・ 幅広い体験を通して、視野の拡大とともに俯瞰する力の醸成
- ・ 高等学校必修科目を中心とした内容の理解

- ・ 高度な内容や専門性の高い内容への興味・関心の喚起
 - ・ 互いに高め合う人間関係づくり
- Ⅲ 【発展期】 活用力、応用力を高め自己実現を図る。
- ・ リーダーとしての資質、能力の育成
 - ・ 高い学力の獲得
 - ・ 主体的に学ぶ姿勢の確立
 - ・ 敬愛される人間関係づくり

○ 当該年度の具体的な重点目標

【全体】

- 1 高い目標を掲げ、チャレンジし、世界のリーダーとして活躍する人材育成に学校全体で取り組む。
- (1) 外部機関や大学等と連携し、高い進路意識や志望を持たせ、自己実現のために努力する姿勢を育成する。
 - (2) 各種コンテストやコンクール、セミナー等へ参加させ、外部人材との積極的な交流により、視野の拡大を図る。
 - (3) CEFR B2（英検準1級）程度の、国際的に通用する高い英語力を育成する。
 - (4) 学校行事や部活動、委員会活動等における異学年との交流を通して、主体性とリーダーとしての素養を育成する。

【学び】

- 2 課題解決をするための思考力・判断力・表現力や主体的に学びに向かう態度を育成し学力の向上を図る。
- (1) 全教科で基礎・基本の徹底と、それを活用する力の向上を図る。
 - (2) 各教科での学習と総合的な学習・探究の時間とを連関させ、探究的な学びを推進する。
 - (3) 全教科でChromebookを効果的に活用した授業づくりに取り組む。

【心】

- 3 生徒に自律を促し、自分の生き方を考えさせるとともに、敬愛される人間関係づくりを学校全体で取り組む。（成長を促す積極的な生徒指導に取り組む）
- (1) 日常の教育活動を通して、自然にあいさつを交わす態度を育成する。
 - (2) 日常の教育活動を通して、思いやりの心や奉仕の精神を育成する。
 - (3) 時間を守ることや身だしなみなど、ルール、マナーの指導を徹底する。
 - (4) 授業や学校行事、部活動等を通して、互いの良さや違いを認め合う集団づくりに取り組む。

【生徒支援】

- 4 支援を必要とする生徒に適切な支援を行い、不登校や学校不適應をなくしていくよう取り組む。
- (1) 生徒情報の共有と迅速な対応をする。
 - (2) SC、SSW、外部機関等との連携により適切な支援を行う。
 - (3) 校内美化等の教育環境を更に整備し充実を図る。

【組織】

- 5 チーム大安寺の精神のもと、業務を、組織の視点及び個の視点から見直し、効率的な運営を学校全体で行う。（部活動を含む1か月当たりの時間外業務時間を、全教職員が80時間未満とする）
- (1) 情報共有（日常の声かけ、ICT活用、打合せ）を丁寧に行い、教職員が助け合う風土をつくる。
 - (2) 学校行事等の実施にあたり、基礎・充実・発展の期ごとに協力して行い、協働と効率を意識した業務を遂行する。
 - (3) 各種会議を効率的・効果的に運営する。